

豊かな自然の特徴と、危険性を含めた防災教育の実施（西予市）

【取組概要】

自然豊かな西予市ならではの取り組みとして平成25年9月に認定を受けた四国西予ジオパーク。しかし、その豊かな自然も時として猛威を振るい、そこに住む人々の生命・財産を脅かす存在となる。西予市立皆田小学校では、子どもたちがジオパークの観点から自分たちの暮らす地域を見つめなおし、自然の恵みに感謝することと併せ、地域の危険性を理解するとともに、災害時に自分たちに何ができるか考えさせ、災害時に適切な行動がとれる児童の育成を行っている。南海トラフ地震に備える取り組みだけに限らず、皆田地区で想定される水害に備えて、土のうづくりや水害避難訓練を実施した。また、地域と連携した訓練では、避難者名簿の作成・避難所の設営を児童を自らの手で率先して実施した。

なお、この取り組みは内閣府主催の防災教育チャレンジプランに応募しており、活動内容について国にもその成果を報告している。

人口 40,796 人

担当部署 総務部危機管理課
事業実施期間 25年4月~28年3月
取組事例のURL



水害を想定した土壌づくり体験

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

ジオパークをとおして自分たちが住む地域の素晴らしさ、恵みを考えるとともに、自然豊かなところには、常に災害という危険性も存在するということを、子どもたちに認識させ、その災害に向き合いどう対応するか、その時自分たちに何ができるかを考えさせる。

地域と学校が連携して訓練等を実施することで、平常時から顔の見える関係が構築される。

防災教育チャレンジプランの取り組みは、今年度で終了するが、この取り組みを市内の学校に波及させたい。ジオパークをとおして、子どもからお年寄りまで幅広く、防災を学び自分の生まれ育った故郷の良さを認識するとともに、そこで発生する災害に向き合い、適切に対応できる知識を習得してもらう。



地域と連携した避難所開設訓練